

公益財団法人豊田市文化振興財団  
令和7年度第2回文化振興委員会

令和7年9月16日（火）午後2時  
豊田市民文化会館 会議室 A

（ 次 第 ）

- 1 あいさつ
- 2 前回の委員会
  - (1) 議事録の確認
    - ・令和7年度 第1回文化振興委員会 会議録
- 3 協議事項
  - (1) 令和8年度事業計画（案）について
    - ・市民文化会館事業計画
    - ・文化事業課事業計画
- 4 報告事項
  - (1) 令和7年度事業視察報告について
    - ・げきじょうたんけんツアー（文化会館）
- 5 その他
  - (1) 次回の委員会
    - 日 時 令和8年2月 日（ ） 時
    - 場 所 豊田市民文化会館（予定）

令和8年度 市民文化会館 事業計画 (案)

【事業ラインナップ】

No.	事業区分	事業名	重点施策	内容	今後の課題	期日	会場	予算案(千円)	目標参加人数他
1	自主	新規【一般向け事業】 ディズニーオンクラシック	鑑賞	ディズニー・アニメーションや映画、テーマパークなどの音楽を生演奏で贈るオーケストラ・コンサート。(株)中京テレビクリエイションと共催。	人気公演を身近な場所で鑑賞できることがこの企画の魅力。なじみのあるディズニー音楽でホールで実演を鑑賞することの魅力を感じてほしい。	6月27日	大ホール	500	1,700
2	自主	【こども向け事業】 劇団四季ファミリーミュージカル	鑑賞	劇団四季の提供するファミリーミュージカルの公演。費用対効果を上げるため、豊田市、劇団四季、財団と三者契約のうえ「豊田市こころの劇場」と同演目を2日連続開催。	鑑賞者が、ホールやホール公演の愛好者へとステップアップしていきとよい。また、豊田市及び近隣で演劇公演等の公演が頻繁に行われるような誘致にも注力する必要がある。	7月20日	大ホール	4,664	1,200
3	自主	【演芸・芸能事業】 とよた寄席	鑑賞	東西の人気落語家による落語会。市内の落語愛好団体と共働で開催する。	当館主催では稀有な市民団体との連携がある公演を市民団体と今後も継続するのか、市民団体の手に委ねるのかタイミングの見極めが必要。	秋冬	小ホール	1,509	400
4	自主	【地域記録事業】 とよた定点観測	地域創生	4月1日に定められた場所でのビデオ撮影や、年間を通して定められた場所で写真撮影を行い、豊田市の変遷を記録する。	記録のアーカイブ化や具体的な活用方法を検討する必要がある。 個人情報保護の観点から展示・公開を前提にした撮影をする必要がある。	映像：4月1日 写真：通年	映像：豊田市駅周辺 写真：市内各所（定点）	150	—
5	自主	【市民参加事業】 歳末チャリティ作品展	社会包摂	豊田市を拠点に活動するアーティストから提供されたアート作品の展示即売を実施し、その収益を社会福祉のための寄附に充当する。 豊田市文化団体協議会の協力を得て実施する。	チャリティの方法や寄付先を福祉にこだわらず寄付先を作家や購入者が選べるなど、社会包摂事業へ拡大していく等、文化芸術を活かした社会貢献への変化を検討したい。 (寄付先の例：社会福祉協議会、こどもアート体験プロジェクト、こども食堂、UNHCR、Unicef等) チャリティイベントでの経費の取り扱いについて出品者と事務局で認識の相違があり、運営方針をよく検討する必要がある。	12月	展示室A・B	937	出展 120
6	自主	【施設利用推進事業】 舞台お困りごと相談窓口	利用促進	初めて(久しぶりに)施設を使う人、利用を考えている人の背中を押す事業。事業実施迄に必要な内容(施設使用料金・企画・申込み・打合せ等々)のアドバイスやノウハウの提供、施設見学をパッケージして利用者の支援をする事業。	毎月機会があることを活かし、タイムリーに主催者の疑問解消を実現したい。時間の制約はあるが、実際に舞台に物を並べてみる、設備を動かしてみるなど普段の下見打合せではできないことを試すことができ、現利用者を含むニーズのある人にアピールし、この機会を活用してほしい。	通年	—	4	30
7	自主	【施設利用推進事業】 げきじょうたんけんツアー	普及・啓発	文化活動の拠点施設の「うらがわ」を子どもたちに体験してもらいミステリーツアー。会館の裏側を探検する機会を通して、舞台芸術の現場やそこに携わる仕事の数々を子ども達が知る機会とし、子ども達が自らの将来を考える上で選択の幅を広げるきっかけとした。	親子向け事業として実施するが、大人向けのツアーや学生・高校生のインターンシップや中学生の職場体験とのコラボも考えていきたい。また、より多くの方に参加していただくために回数を増やすことを検討する。	8月・12月	—	147	80
8	自主	【鑑賞機会創出事業】 とよた☆あしながプロジェクト	社会包摂	企業・団体・個人の協力のもと、当館事業の公演チケットを市内の親子にプレゼントし、音楽や伝統芸能の鑑賞機会を提供し、家族のコミュニケーション機会の創出と様々な理由でアート体験の機会に恵まれない子どもたちへのプレゼントの二つの目的達成を目指す。	支援をする側(寄付者)の拡大に努め、劇場を通じて行われる社会貢献の形・機会を広く市民に周知したい。また、他団体が実施する親子支援事業と連携し相互協力し、より広い支援の輪を構築する必要がある。 フードパントリー事業でつながりのある子ども食堂ネットワークを活用したPRを強化する必要がある。	通年	—	222	—
9	自主	【地域活動支援事業】 こども食堂フードパントリー事業	社会包摂 地域創生	空きスペースの地下食糧庫を有効活用し、とよたこども食堂ネットワークと連携して、市内全てのこども食堂へ提供された食材の一時保存を支援する。 今年度はこども食堂ネットワークの定例会に積極的に参加し「あしながプロジェクト」との連携を取っていく。	こども食堂運営の支援を通して、支援のニーズを把握し、必要な支援と劇場が出来ることを結びつける。	通年	地下食糧庫	102	—
10	共催	豊田市「こころの劇場」支援	事業協力	豊田市が小学6年生を招待し毎年実施する「こころの劇場」の開催を施設管理者として支援する。		7月21日	大ホール	—	—
11	受託	【市民交流事業】 つながりリビング事業	地域創生	館内カフェのフリースペース「つながりリビング」を活用し、交流を創出するワークショップや展覧会、ミニコンサート他を開催。会館事務局の企画、市民の企画、カフェの企画で多様な内容を提供する。	ホール利用の無い週末や祝日、平日に来館者を増やす工夫や企画を開発・試行を繰り返し、定番の企画を増やす必要がある。 飲食目的の来場者にも楽しんでもらえるカフェ営業時間内の企画と、営業時間外に会場を占有する企画に色分けすることで、それぞれのニーズに応えられる運営方法の確立が必要。 「会館に行けば何かやっている」と言えるくらいの賑わい創出につなげたい。	通年	つながりリビング	628	950

令和8年度 文化事業課 事業計画(案)

【事業ラインナップ】 ※共催は豊田市との共催事業 自主は財団自主事業（自己財源事業） 【重点施策・日付順】

R7.9.6

No.		事業名	重点施策	内容	今後（主に8年度）に向けた課題・取組み	期日（予定）	会場	予算（千円）	目標参加人数他（人）
1	共催	小倉百人一首かるた第64回全日本選手権大会・かるフェス	普及・啓発	名人戦・選抜大会と並ぶ全国三大競技かるた大会を、全日本かるた協会と共催で開催する。	「かるフェス」と大会自体のつながりや効果が少ないため、「かるフェス」について、やり方を見直す	4月	名鉄トヨタホテル 参会館	2,085	かるフェス来場者400
2	自主	県文連芸能大会	普及・啓発	西三河地区の文化協会と合同で舞台芸能祭を開催し、他市町の愛好者との交流と活動の活性化を図る。8年度は幸田町開催。	開催目的や内容、客層に合わせた出演団体を選定する	未定	西尾市	70	出演1団体
3	共催	(新規) 県民茶会	普及・啓発	県文連加入の文化協会相互の連携のもとに、お茶会を開催し、茶道文化の普及を図るとともに、県民文化の向上に努める。	豊田市が開催地となるため、豊田らしさどのように盛り込めるのか、さらに主催者としての責務を果たせるよう関係各所と協力する	11月15日(日)	文化会館・童子苑・博物館	4,970	来場者300
4	自主	県文連美術展	普及・啓発	県内の文化協会と合同で美術展を開催し、市内における新人の発掘と愛好者の活動の活性化を図る（文化団体出品協力事業）。		未定	未定	6	出展10
5	自主	(新規) 長谷豊寿豊田芸術選奨受賞記念講演	鑑賞	豊田芸術選奨受賞者の芸術を広く鑑賞いただく講演会と作品展を開催する。	これまでの本事業は、展示形式が多かったが、今回は展示のみではなく、講演会も同時開催するため、その周知と集客方法を検討する	講演5月3日 展示5月1日～7日	文化会館	1,138	来場者2,000
6	自主	(新規) 宇野マサシ豊田芸術選奨受賞記念展準備	鑑賞	令和9年6月に開催する記念展の事前準備（事業PRおよびその宣材収集、打合せなど）		R9.6月	文化会館	305	—
7	自主	令和8年度豊田市文化振興財団大会	人材育成 創造	財団の基本方針を内外に示すとともに、文化振興や青少年健全育成、地域振興に業績を挙げた功労者を表彰する。	表彰制度、大会内容について、再検証する	6月7日(日)	文化会館	2,064	来場者400
8	共催	文化な日 (旧) おいでんアート体験フェア	普及・啓発 人材育成	文化芸術を気軽に体験することで、子どもたちの育成と文化の担い手づくり、生涯活躍できる新たな文化活動のきっかけ作り事業。	他事業「WE LOVE とよた」と同時開催することで、相乗効果や運営方法、市民の体験状況などについて検証する	未定	スカイホール豊田	6,086	参加者2,000
9	共催	舞台芸術人材育成活用・創造事業 とよた演劇ファクトリー	人材育成	「演出コース」・「役者コース」など演劇人の養成及び演出、人材を育成する講座と公演を開催する。	第3クールの2年目として適したカリキュラム選定。また、令和9年度以降の事業方針について検討する	講義5月～2月 公演2月	文化会館 小ホール	5,527	参加者25
10	共催	とよたこども創造劇場	教育	表現力を培う演劇により青少年の健全育成を図るとともに、子どもによる演劇公演を開催する。	運営に携わるスタッフ募集を強化し、大道具・舞台補助など各担当に対応できる人材を長期的に育成していく	稽古5月～11月 公演11月22日(日)	文化会館	5,933	参加者40
11	共催	文化活動者派遣事業	教育	小・中学校等へ出向き、文化活動者のワークショップを行い、児童・生徒が文化芸術に出会う機会を提供する。学校教育の総合学習に寄与する。	講師負担の軽減策検討、および体験メニューの開発、申込校増への対応を検討する	9～1月	市内各小中学校	1,823	延べ40校
12	共催	吹奏楽フェスティバル2026	教育	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高校吹奏楽の演奏会を開催する（支援事業）。	主催者である豊田加茂吹奏楽連盟の動向を注視（教師の働き方改革や部活動の地域展開など開催自体の有無を調整中）	11月	文化会館	200	15校
13	共催	豊田市少年少女合唱団運営	教育	定期演奏会、こどもコーラス・フェスティバルのほか、各種イベント出演などの活動を行う。	事業の目的を見返し、運営の方向性を検討する	通年 定演12月	定期演奏会: コンサートホール	12,464	団員数120
14	共催	豊田市ジュニアマーチングバンド運営	教育	定期演奏会、マーチング愛知県大会のほか、各種イベント出演などの活動を行う。	団員増に対する受け入れ態勢、また、運営の見直しも検討する	通年 定演3月	定期演奏会: 未定	38,383	団員数130
15	自主	イルミネーションストーリー2026 inとよた	地域創生	快適な都市空間を創出し、市街地の活性化を図る文化イベントへの支援を行う（支援事業）。		11月～1月	豊田市街地	30	—
16	自主	文化情報・広報PR事業	創造	ウェブサイト、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどにより、事業実施のPRや進捗・結果報告などの情報提供を行う。	発信する内容やタイミングなど、より効果的な発信方法を探る 英語表記の記事も発信し、外国人へのアプローチも進める	通年		0	—
17	自主	文化情報誌「カレント」発行	創造	市内で開催される文化情報を網羅した情報誌を発行し、情報提供を行う	配布方法や配布先の見直し。また、会館情報誌との統合も検討する	季刊		3,098	各5,000部
18	自主	(新規) 西三文協美術展	貸館	西三河地区の文化協会と合同で美術展を開催し、他市町の愛好者との交流と活動の活性化を図る。8年度は西尾市開催（隔年）	加盟団体を中心とした作品募集の周知を進める	未定	西尾市	49	—
19	自主	西三文協連絡協議会 県文連総会	貸館	各団体が主導する美術展等の開催に豊田市民が参画できるよう情報収集と開催支援事務を行う。		4月 5月	豊田市 名古屋市	65	—
20	自主	市民文化活動助成事業	貸館	文化団体や市民の活動を様々な角度からサポートし、文化事業の活性化を推進する。	財源を見据えながら、事業実施者のニーズに応じた助成のあり方を検討する。さらにPRにも尽力する	年2回募集		486	応募12団体
21	自主	市民文化活動支援	貸館	市民の文化活動に対する後援事務、文化団体の公演へのPR補助などを行う。		通年		0	—
22	自主	豊田文化団体協議会運営	貸館	市民が参画する協議会の運営事務や定期的な役員会、委員会を開催支援する。		通年		0	—
23	自主	音楽練習場運営	貸館	音楽団体の育成と音楽練習場の運営を行う。		通年		201	特定6団体
	自主	(廃止) クラフト公募展	普及・啓発	工芸作家と愛好家が一堂に会して作品発表を行い、活動の活性化と交流連携を図る（支援事業）。	隔年開催のため令和8年度は開催しない				
	共催	(廃止) とよた将棋フェスタ	普及・啓発	子どもによる将棋対局や指導将棋など将棋の普及を図る機会を提供する。	20年実施し、将棋の普及という目的を一定程度は達成したと判断したため、廃止				

	共催	(統合) とよた市民アートプロジェクト	普及・啓発 人材育成 地域創生	アートイベントを市民主導で作り上げることをきっかけにして、市民が積極的かつ継続的に文化芸術活動に関わることで、文化を創造し楽しむ風土を作るとともに、文化芸術を通じてまちづくりに参加する仕組みづくりと企画する側の人材育成を図る。	市民アートプロジェクト、デカスプロジェクトで培ったノウハウや人脈を活かし、さらに地元の地域資源である農村舞台を活用して、豊田市の魅力を市内外に大きく発信できる事業へとするため、統合できるよう検討を進める				
	共催	(統合) とよたデカスプロジェクト	人材育成 地域創生	アート事業企画案を募集し、賞金の交付や広報によって取組を支援する。					
	自主	(統合) 農村舞台アートプロジェクト2025	地域創生	農村舞台を会場として、シンポジウムとライブ公演を開催し、地元民と外国籍の方が文化を通じて交流を図る。					
	自主	(廃止) とよた演劇祭	普及・啓発 人材育成	演劇アカデミー及び演劇ファクトリー修了生を中心に市民が運営する演劇祭を開催する（支援事業）。	演劇を通じた人材育成事業の受け皿として10年開催してきたが、運営者（市民）の意向と次の展開を検討するため、廃止				
	自主	(廃止) 豊田東名ライオンズ50周年事業	鑑賞	梯剛之ピアノチャリティコンサートの開催について、PRや当日運営の支援（支援事業）	主催者の周年事業であるため、令和7年度のみ開催				
	自主	(廃止) 文化会館 開館50周年記念事業	貸館	文化振興課・市民文化会館・文化事業課で企画し、文化会館全館を使ったイベントを開催する。（協力事業）	周年事業であるため、令和7年度のみ開催				